

令和3年度第2回大磯町総合計画審議会結果概要

- 日時 令和4年3月17日（木）午後3時から午後4時50分まで
- 場所 Web開催 大磯町保健センター2階研修室
- 出席者（会長）成田委員（学識経験者）※オンライン参加
（委員）鈴木祥弘委員（学識経験者）※オンライン参加
濱谷委員（教育委員会教育長職務代理）※オンライン参加
戸塚委員（農業委員会会長）
小泉委員（区長連絡協議会会長）※オンライン参加
大塚委員（観光協会副会長）※オンライン参加
立石委員（PTA連絡協議会会長）※オンライン参加
岩田委員（中郡医師会理事）※オンライン参加
鈴木健太郎委員（株タウンニュース社大磯・二宮・中井編集室編集長）
※オンライン参加
池田委員（公募町民）※オンライン参加
- 事務局 政策総務部長、政策課長、政策課担当職員
- 傍聴者 2名
- 議題（1）大磯町第五次総合計画前期基本計画実施計画書2022年度～2024年度
について

○会議記録

1. あいさつ

・会長あいさつ

本日の審議会の議題は「大磯町第五次総合計画前期基本計画実施計画書2022年度～2024年度について」の1点のみとなる。

また、今回の審議会はウェブ会議（Zoom）で開催されるため、委員の皆様にはご不便等あるかと思うが、ご協力いただきたい。

2. 議事

（1）大磯町第五次総合計画前期基本計画実施計画書2022年度～2024年度について

資料1及び大磯町第五次総合計画基本構想・前期基本計画（以下「第五次総合計画」という）に基づき大磯町第五次総合計画前期基本計画実施計画書2022～2024年度（以下「実施計画書」という）について事務局から説明を行い、次のとおり意見提案及び質疑応答が行われた。

- ◎ 実施計画書に記載のある重点プロジェクトに位置付けられている事業と部門別事業の違いについてご説明をいただきたい。(会長)
- 第五次総合計画 16 ページ「計画の体系」に示しているとおおり、基本構想がある中で、前期基本計画が位置付けられている。また、前期基本計画にある部門別計画（第五次総合計画 26-27 ページ）で、様々な分野を網羅するように整理し、各計画に関連した事業を「部門別事業」としている。その部門別事業が位置づけられる中で、前期基本計画期間内で特に重点的に取り組まなければならない事業を「重点プロジェクト」として位置付けている。(事務局)

- ◎ 実施計画書 11 ページ「情報化推進事業」の年度別事業内容に記載のある公衆無線Wi-Fiの整備する施設の選定また優先順位はどのように決めているのか。(委員)
- 公衆無線Wi-Fiの整備については、コロナ対策に関する事業として地方創生臨時交付金を活用しながら取り組んでおり、令和3年度は子育て支援センター、図書館及び生涯学習館で実施した。選定の理由は、子育て世帯などの利用者が多い施設を優先的に実施するとしたためである。また、令和4年度は町の指定避難所である小学校と中学校の体育館に整備を予定している。(事務局)

- ◎ 実施計画書 11 ページ「情報化推進事業」の年度別事業内容に記載のある高齢者への情報格差対策について具体的にどのようなことが予定されているのか、また、最新の人口ピラミッドを踏まえたうえで、このような取組みを考えているのか。(委員)
- 情報化推進事業については、DXを推進することで、町民の利便性や町の業務の効率化を図る必要があると考えている。このため、令和4年度施政方針において、重点的に取り組む事業の1つと位置付けている。そのような位置付けの中で、令和4年度は町の人口の3割以上を占めている高齢者の情報格差が生じることを懸念しており、高齢者を取り残してしまうことのないよう、通信事業者の協力を得てスマホ教室を実施する。(事務局)

- ◎ 「重点プロジェクト」に位置付けられた事業の場合、予算の付け方で他の事業より優先するなど何か扱いが変わるのか。(委員)
- 町としては、「重点プロジェクト」に位置付けられた事業は積極的に実施ができるように優先的に予算措置している。(事務局)

- ◎ 実施計画書に記載されている事業は、今後追加されたりするのか。(会長)
- 実施計画書については、毎年見直しを行っているため、社会経済情勢に応じて事業が追加される。今回の実施計画書でも、前年度から8つの新規事業が追加されている。(事務局)

- ◎ 重点プロジェクト3で多くの事業が位置づけられている中で、例えば、重点プロジェクト1で「認定要件に該当する事業がありません(③働く世代の移住促進事業)」とある。このような事業についても、具体的な事業を位置付ける必要があると感じるがどのように考えているのか。(会長)
- 実施計画書3ページ「(3)計画事業」に示した要件に基づき事業を認定しており、総合計画を進めていく上で、事業費を確保することが重要となることから、①予算規模の大きな事業として概ね500万円以上の事業費となるものを対象としている。どうしてもハード面に関する事業(道路や河川の整備など)は、予算規模が大きくなってしまいうため、認定事業とすることが多い。そのため、各重点プロジェクトに偏りがあるように見えている。町としては、施政方針で述べた取組み(子育て、教育、健康、経済、安全・安心、DX)に沿った予算編成を行い、重点プロジェクトを網羅できるように各事業を位置付けている。また、「認定要件に該当する事業がありません」と記載がある事業については、要件(予算規模が大きい等)に合致する事業がないため、このような記載としている。しかし、実施する事業がないわけではなく、重点事業の方針に沿った具体の取組みは実施していく予定である。(事務局)
- ◎ 事務局の説明は理解できたが、事業の予算規模に関わらず、町がどのようなことを実施しているかなど町民に理解してもらいやすいような記載の仕方をした方が良いと考える。(会長)
- ◎ 会長の意見と同様に、総合計画の審議では各計画がわかるような資料の提供が必要と考える。(委員)

- ◎ 重点プロジェクト2に妊娠や出産という言葉が記載されているが、現在、町内では出産などができない環境にある。何もしないのではなく年数をかけても実現させるような施策を練ってほしい。また、医療従事者を含め町民の生活はコロナ対策などで変わってしまった。そのような中で、コロナ対策として新たに追加を予定しているような取組みはあるのか。(委員)
- 妊娠・出産は子育ての観点からも重要であると認識している。具体的な方針等を示せないが、町としては、引き続き、病院の設置・誘致等の検討を進めていく。また、コロナ感染対策については町の重要な施策であると認識しているが、認定

事業とする要件に基づき、今回の重点プロジェクトとして記載していない。(事務局)

◎ コロナ対策は単年度で終わるものではないため、長期的な視点を持って計画を作り上げてほしい。また、国や県が行う事業だけではなく、大磯町ができる施策を考えてほしい。(委員)

○ 所管課や専門家の意見等を踏まえながら、前向きに検討を進めていきたい。(事務局)

◎ 重点プロジェクト2の「大磯町立幼稚園認定こども園移行事業」とあるが、こちらの移行は決定しているのか。(委員)

○ 大磯町の待機児童が0にならない問題があり、その対応として、大磯町立幼稚園の認定こども園へ移行する方針を固めた。しかし、現在幼稚園に通うお子さんの保護者の方々からご意見をいただいている。町が一方的に進めるのではなく、様々なご意見を踏まえながら、保護者の皆様に納得してもらえるように進めていく。(事務局)

◎ 町の将来像で「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」とあり、実施計画書では、町の特色を活かす費用対効果の高い事業を認定していると思うが、その点がわかりにくい。どのような事業に対して「紺碧の海」や「緑」という町の将来像が反映され、工夫をしているのか。(委員)

○ 町として、特色として海は大きな地域資源の一つと認識している。そのような特色を活かすため、例えば、周遊拠点となる施設(みなとオアシス)を整備し、町内で獲れた海産物を販売するなどの取組みを進めている。個々の事業に町の将来像を具体的に反映しているというわけではなく、各事業を実施する中で、町の将来像を意識した取組みを行うこととしている。(事務局)

◎ 町の将来像にある海や緑といったところは、住民の中でも一番の魅力として認識している部分かと思う。環境を活かした町の将来像をどのように各計画に反映していくかは専門的なご意見をこれから出していただきたい。(会長)

◎ 令和4年3月議会における令和4年度予算(案)の審議にて、一般会計の「大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出事業」の事業費を除いた修正案にて成立したとのことだが、今後、計画を実施していく流れはどのようになるのか。(委員)

○ 町としての方向性については、3月議会でいただいたご意見等を踏まえながら、今後、決めていくこととなる。そのため、タイムスケジュール等は現段階でお話ができない。(事務局)

3. その他

事務局から令和4年度の総合計画審議会の日程や予定している議題等について事務連絡を行った。

以上